



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
博多区社協事務所（博多区社会福祉協議会）
 福岡市博多区博多駅前 2-8-1 博多区役所6 階
 TEL: 092-436-3651 FAX: 092-436-3652
 Eメール: hakataku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 ここと



語ろう!創ろう!よか大浜!



～福祉のまちづくりプラン実現に向けて～

大浜地区では、自治協議会と校区社会福祉協議会が協力し、福祉のまちづくりプラン「語ろう!作ろう!よか大浜プラン」を令和6年12月に作成しました。

福祉のまちづくりプランは、誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて、校区・地区としての取組み・目標をまとめたものです。

大浜地区では、令和6年5月と8月に座談会を開催し、地域の課題や強み、今後の取組みについて話し合い、皆で話し合った内容をプランとしてまとめました。

完成した福祉のまちづくりプラン

どうたい!作ろう!よか大浜プラン

プラン1 地区内の交流を進め、協働・連携を深めよう

① すずんで挨拶を交わそう

・まずは顔見知り、お互いみんなであいさすする

② 協働・連携と交流を進めよう

【協働・連携】
 ・自治協を中心に、自治会・社協など関係団体間の協働・連携
 （自治協の事業、防災訓練、もちつき大会等における協働）
 ・地区内の専門学校・企業や博多区の産業・職業訓練所との協働・連携
 （就職支援への参加、マシソン等にも参加する）

【交流】

・高齢者世代の交流（ふれあいサロン、老人クラブ等）
 ・若い世代の交流（子育てサロン、キッズクラブイベント等）
 ・多世代の交流（高齢者、若い世代、外国人、子育て世代等）
 （ふれあいイベント、料理、スポーツ、運動会、文化祭、祭り、地区フェスティバル等でも実施する）

③ ICT、ネットを活用しよう

・地区内企業との協力を得て、可能な施策を試みる
 地区の各団体で勉強会などを開催
 ・若者世代の関わり・協力を促進する
 ・他の校区の事例などを研究する

プラン2 見守り・生活支援を充実させよう

① 支え合いの仕組みを再構築しよう

・ICTやネットLINEなど活用し、人材バンクを充実させ、「はまお助け人センター」運営を強化する
 ・できるだけ若い世代に参加してもらう（若い世代がメンバーの地区団体や育成会、資源回収ボランティアなどに協力を依頼する）

② 見守り（高齢者・子育て世代）活動を充実させよう

・ふれあいネットワークを推進し見守りだけでなく、自治協、自治会長など、より多くの人が参加し、まちぐるみで見守る体制をつくる

プラン3 健康寿命をみんなで延ばそう

① よかトレ実践ステーションに参加しよう

・皆で参り合って参加する
 ・ラジオ体操を道年に取り組む

② ウォーキングに取り組もう

・ウォーキンググループ・年代別、距離別など複数をつくる
 ・ウォーキングマップを作成する

③ 「老人クラブの活動」を皆で応援しよう

・活動の幅を広げる（例：子どもと遊ぶ活動、相談会、みんなでポッチャ）
 ・年齢を問わず老人クラブの地域事業に参加する

④ 認知症について知ろう、健診を受けよう

・認知症サポーター講座、ユメニチュード講座に全世代で参加する
 ・健診（おたけなど）を毎年受ける
 ・食生活・口腔ケア（オーラルフレイル）に気を付ける

また、プランの実現に向けて、今後具体的にどのように取り組んでいくか話し合うため、令和7年2月26日に「語ろう!創ろう!よか大浜」講座が開催されました。この日は47名の参加に加え、事業所ネットワーク(※)「おいさ博多」の参加もあり、地域住民の皆さんと活発な意見交換が行なわれました。

参加者からは「若い世代と交流する機会があると良い」「LINEを活用してもいいのでは」「運動会や地域カフェ等、住民が気軽に集える場があると良い」「地域活動の魅力を伝えるため、もっと住民にPRしてはどうか」等のアイデアが出ました。

※事業所ネットワークとは

医療や介護等の事業所が連携し、地域の健康づくりや介護予防等についてボランティアで協力する団体です。具体的には、ふれあいサロンや地域での研修会への出前講座、イベントの協力等を行っています。



2月26日に開催された座談会で話が盛り上がる参加者

孤立死を防止するための研修会を実施しました ～吉塚校区ふれあいネットワーク研修会～

吉塚校区では、NPO法人孤立防止センター(※)速水靖夫理事長による「現場から見た孤立死防止」と題した研修会を、令和7年3月19日に実施しました。

近年、孤立死は「セルフネグレクト(自分の生活に極度に無関心となり、著しく生活環境と健康状態が悪化している状態のこと)」が大きな要因のひとつだと言われています。

速水理事長は、「セルフネグレクト」を防ぐポイントとして、「相談できる友人・知人を作る」「地域・近隣との交流を持つ」「困った時はSOSを出せる環境を作る」の3つの行動が重要だと話されました。

参加者からは、「人とのつながりの大切さを感じた」「見守り活動にとっても参考になった」という感想がありました。

※NPO法人孤立防止センターは、住民からの連絡を受け、孤立死の疑いがある高齢者宅等に駆け付け安否確認を行なう「福岡市見守りダイヤル」を運営しています。

【福岡市見守りダイヤル】 ☎080-9100-0883



博多区子育てサロン支援事業

博多区社協事務所では、子育てサロン(※)の充実を図るため、サロンに出向いてプログラムを提供する保育園に対し、交通費の助成を行なう事業を実施しています。

保育園に来てほしい子育てサロンは、
博多区社協事務所にご相談ください。

※子育てサロンとは…

公民館などの身近な地域の会場で、ボランティアが見守り、乳幼児の親子が開設時間内の好きな時間に訪れて、自由に過ごすことができる場所です。



保育士さんによる遊びの紹介 ～那珂南校区子育て交流サロン～

ご寄付ありがとうございました

■マックスバリュ 雑餉隈店 様

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を通じていただいた物品等を、博多区社協事業に活用させていただきます。



※マックスバリュ雑餉隈店様は、令和7年2月28日をもって閉店となりました。
今まで博多区社協事務所にご寄付・ご協力いただき、ありがとうございました。

■日産化学株式会社 福岡オフィス 様

生活困窮者支援等に使用させていただきます。

■日蓮宗 本興寺 様

地域福祉活動の推進のために使用させていただきます。
また、菓子等もご寄付いただき、博多区内の子ども食堂等に配布いたしました。

■ボランティアグループ あしたば 様

■王 神 様

■西頭 敬一郎 様

地域福祉活動の推進のために使用させていただきます。

賛助会費

～賛助会員の皆さま、ありがとうございました～

令和6年度福岡市社会福祉協議会博多区社協事務所賛助会費にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

個人	法人・団体
198件 339,000円	13件 270,000円

令和7年度も賛助会費を募集しています。

個人	法人・団体
1口 500円	1口 10,000円



—老いても尚の生きがいを—
社会福祉法人 敬愛園

アットホーム福岡
福岡市博多区千代1丁目1番55号
☎092-631-1007

ケアスタ福岡
福岡市博多区千代1丁目30番25号
☎092-645-2155

特別養護老人ホーム
ショートステイ
サービス付き高齢者向け住宅
けいあい保育園



グループホーム
小規模多機能型居宅介護
サービス付き高齢者向け住宅
千代パピヨンサービスセンター
福岡介護福祉専門学校

